

高円宮牌 2012ホッケー日本リーグ【女子】

開催日時 5 月 19 日 (土) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 13:00	東海学院大学	2	$\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 1 - 0 \end{pmatrix}$	0	南都銀行
第2試合 15:00	ソニーHC BRAVIA Ladies	9	$\begin{pmatrix} 5 - 0 \\ 4 - 0 \end{pmatrix}$	0	立命館大学ホリーズ

【各試合の結果・詳細】

第1試合

東海学院大学 2 $\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 1 - 0 \end{pmatrix}$ 0 南都銀行

<得点>

東海学院 : 28分 44分 浅海

南都 :

<戦評>

今年の日本リーグ岐阜シリーズは、地元の東海学院大学と南都銀行の試合によって開幕された。試合開始直後から東海は、正確なパスをつなぎスピードのあるドリブルで攻撃を仕掛ける。守備でも一列目から激しいプレッシャーをかけ、相手DFを惑わせる。南都は、ロングパスをつなぎゴール前へ積極的にボールを集め13分PCを取得する。リバウンドから得点を得たと思われたが味方の足にあたり得点とはならない。その後も南都は後ろから力強いボールを前線に送るが上手く繋げることができない。東海は、28分#11小沢がドリブルで中へ切り込み#15浅海がサークル内でパスを受け左下にタッチシュートを決め、先制点を挙げた。1-0のまま前半戦を折り返した。後半戦に入り東海は守備からの反転パスをサークル付近に残っていた#15浅海につなぐ。相手DFとGKを交わし44分倒れ込みながらリバースヒットで2点目を挙げる。南都は前半戦と同様にロングパスで相手陣地へ攻め込み、1点を返そうと積極的にシュートを放つが相手GK#28清水を中心とした守備に阻まれる東海は守備から素早い反転を仕掛けさらに得点を狙う。しかし南都は身体を張った守備でそれをさせない。その後南都は何度もPCを取得するが東海の堅い守備を破ることができず2-0のまま試合は終了し東海が勝利した。

テクニカルオフィサー	下島 多美子	アンパイア	相馬 知恵子
ジャッジ	苅谷 和代		我妻 順子

第2試合

ソニーHC BRAVIA Ladies 9 $\begin{pmatrix} 5 - 0 \\ 4 - 0 \end{pmatrix}$ 0 立命館大学ホリーズ

<得点>

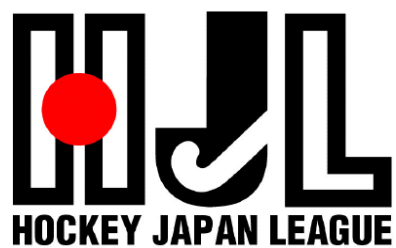
ソニー : 10分 52分 58分 68分 村上、15分 佐藤、23分 深野、29分 石田、34分 中島
55分 徳島

立命館 :

<戦評>

試合開始直後からソニーHC BRAVIA Ladiesが激しい攻撃を仕掛ける。細かいパス回しと個人技で攻め入り、積極的にシュートを狙う。立命館大学はソニーのミスを狙いチャンスを作るも、押しきることができない。ソニーは10分PCを取得し、#4村上が右上にドラッグシュートを決める。さらに15分再びPCを取得し、#2林がパントから放ったボールを#11佐藤がタッチで決め2点目を挙げる。その後立命館は反転を試みPCを取得するもソニーの堅固な守備に阻まれる。試合はソニーペースのまま進み、23分#13深野、29分#23石田がフィールドシュートを決める。34分PCから#10中島が得点を挙げ5-0とする。点差がひらいたまま前半戦を折り返した。後半戦が始まり得点を取りたい立命はドリブル突破でチャンスを作ると41分42分43分と立て続けにPCを取得する。しかし、ソニーの堅い守備により得点することができない。その後ソニーが正確なパスで攻め、50分PCを取得。#4村上が右下へドラッグシュートを決めた。更にソニーは55分PCを取得。#7徳島が浮いたボールを冷静にタッチし、7-0と点差を広げた。その後、立命は疲れが見えるソニーの隙を狙いPCを取得する。タッチシュートを狙うがソニーの徹底した守備によりシュートを打つことができない。ソニーは58分、68分にPCを取得。どちらも#4村上が右上にドラッグシュートし追加点を挙げる9-0のまま試合が終了し、ソニーが圧勝した。

テクニカルオフィサー	下島 多美子	アンパイア	山田 恵美
ジャッジ	苅谷 和代		根岸 郁美



高円宮杯 2012ホッケー日本リーグ【女子】第1節 第1日

開催日時 5月19日(土) 会場 コカ・コーラウエストレッドスパークスホッケースタジアム 天候 曇り

【全試合結果】

第1試合	天理大学ベアーズ	1	$\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$	1	山梨学院大学CROWNING GLORIES
第2試合	コカ・コーラウエストレッドスパークス	5	$\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 5 & - & 0 \end{pmatrix}$	0	グラクソ・スミスクライン
第3試合		0	$\begin{pmatrix} - \\ - \end{pmatrix}$	0	
第4試合		0	$\begin{pmatrix} - \\ - \end{pmatrix}$	0	

【各試合の結果・詳細】

第1試合

天理大学ベアーズ 1 $\begin{pmatrix} 1 & -1 \\ 0 & -0 \end{pmatrix}$ 1 山梨学院大学CROWNING GLORIES

勝点 1
0 勝 1 分 0 敗

勝点 1
0 勝 1 分 0 敗

<得点>

天理 : 18分森
山梨学院 : 8分鈴木

<戦評>

山梨学院のセンターパスにより試合が始まった。開始早々山梨学院はPCを得るが得点には至らず、両者激しい攻防が続く。前半8分山梨学院はDF#1伴田からの打ち込みをMF#21鈴木タッチシュートにより先制点を得る。19分天理はPCからMF#13牛尾のヒットをFW#12森がタッチシュートし同点に追いつく。前半残り3分山梨学院は立て続けにPCを得るが天理の堅い守りに得点を得ることができず前半戦が終了した。

後半山梨学院の攻撃が続くが得点に繋げることができず、天理FW#9笠原カウンターからフリーで抜けだしシュートを打つがGK#3永山のファインセーブにより追加点を得ることができず、後半終了間際山梨学院はPCを得るが決めることができず同点のまま試合が終了した。

テクニカルオフィサー ジャッジ	黒木 繁紀 井上 美幸	アンパイア	安田 裕美子 藤原 真由美
--------------------	----------------	-------	------------------

第2試合

コカ・コーラウエストレッドスパークス 5 $\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 5 & -0 \end{pmatrix}$ 0 グラクソ・スミスクライン

勝点 3
1 勝 0 分 0 敗

勝点 0
0 勝 0 分 1 敗

<得点>

コカ・コーラ : 37分駒澤、39分金、46分金、49分駒澤、55分新井
グラクソ :

<戦評>

コカ・コーラのセンターパスにより試合が始まった。開始早々コカ・コーラの猛攻撃が続くがグラクソの堅い守りを崩すことができず、両チーム一進一退の攻防が続く。前半残り1分左からドリブル突破したFW#13加藤がPCを取得しチャンスを得るがFB#18李のフリックシュートは左に外れ得点に結びつけることができず、そのまま前半が終了した。

後半コカ・コーラのFW#13加藤のドリブルからこぼれ玉をMF#11駒澤が倒れこみながらシュートし先制点を得る。その2分後FW#7三橋の右からの折り返しをFW#16金が押し込み追加点を得る。リズムに乗ったコカ・コーラは46分FW#16金が強烈なリバースシュートを決めグラクソを突き放す。立て続けにMF#11駒澤がシュートを決め、PCから55分FW#9新井がタッチシュートを決める。その後もコカ・コーラの猛攻撃が続く中グラクソも反撃を試みようとするがカウンター攻撃からPCを得るが得点に結びつけることができず、5-0でコカ・コーラが勝利を収めた。

テクニカルオフィサー ジャッジ	黒木 繁紀 井上 美幸	アンパイア	水谷 理恵 寿山 由樹
--------------------	----------------	-------	----------------